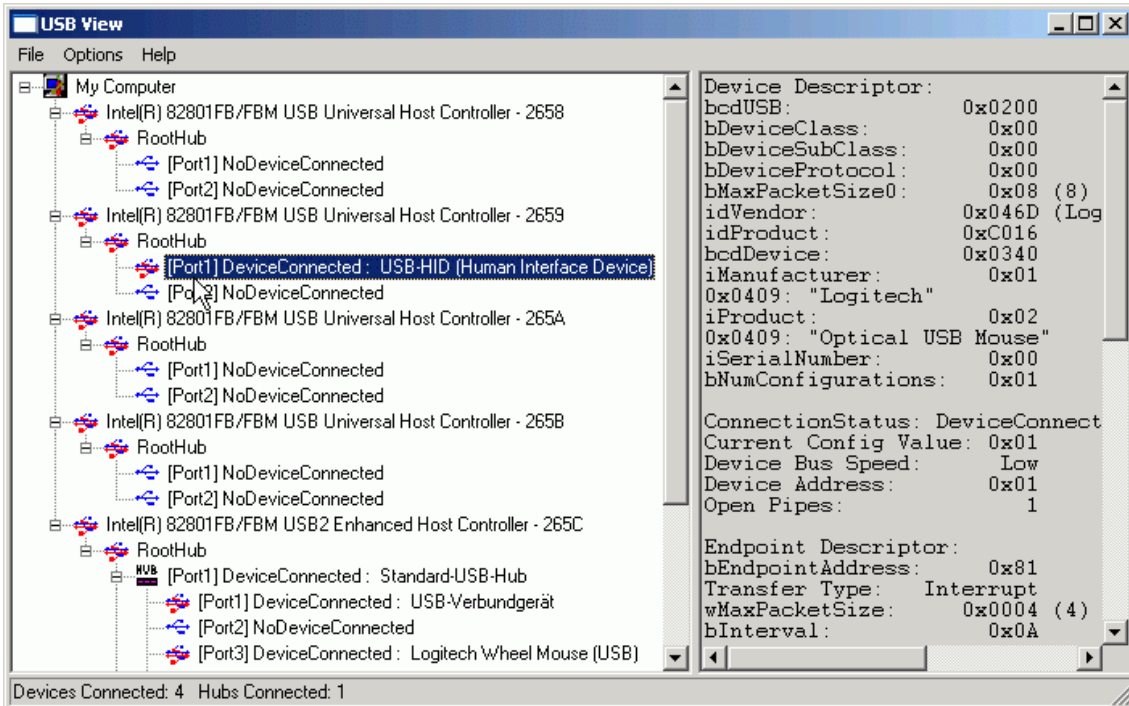


フラッシュメモリーがクラッシュした場合の対処方法 - VNWA3 ヘルプ抜粋

(Recovering Corrupted Flash Memory - VNWA Help の抄訳)

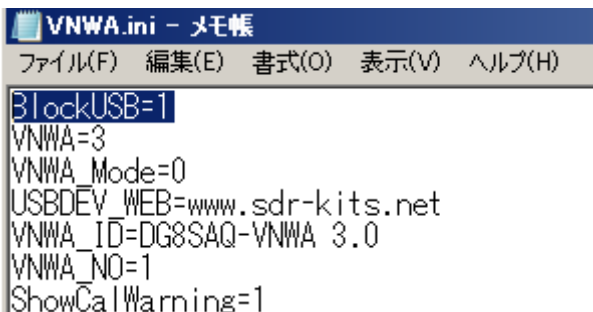
抄訳 ICAS Enterprises

ファームウェアアップグレード中に電源供給が断たれたりPCがクラッシュしたりした場合、ファームウェア内容が破損し機能なくなる場合があります。USBコアの部分はある程度保護されていますので、USB経由によりファームウェアを復活できる可能性が残されています。USBコアが完全に機能している場合、AVR機能は、USB View により下記のように表示されます。

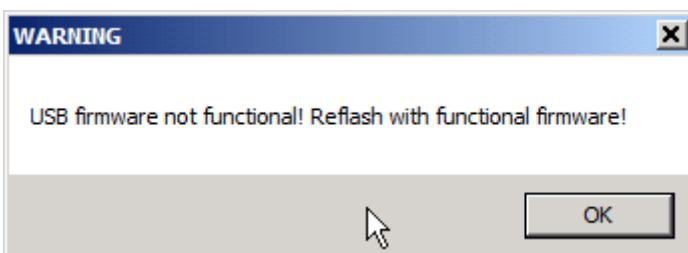


症状 1: VNWA3の AVRデバイスの動作が USB View 上で確認できる場合:

ファームウェアが破損していますので、VNWAソフトを起動すると色々なエラー表示がでできます。このエラー表示を回避する為には、**VNWA.ini** をテキストエディターで開き、「BlockUSB=1」という行をトップに追加してください:



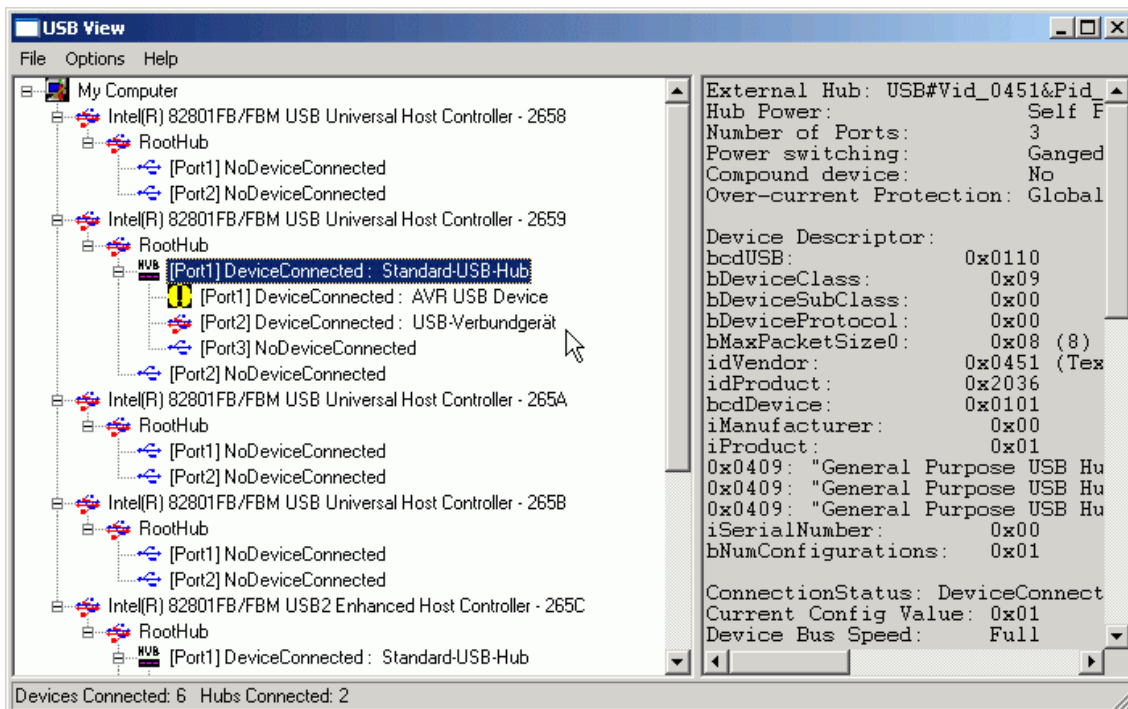
VNWA.iniを上書き保存し、VNWAソフトを再起動してください。ファームウェアが機能していませんという内容の下記メッセージが表示されます。



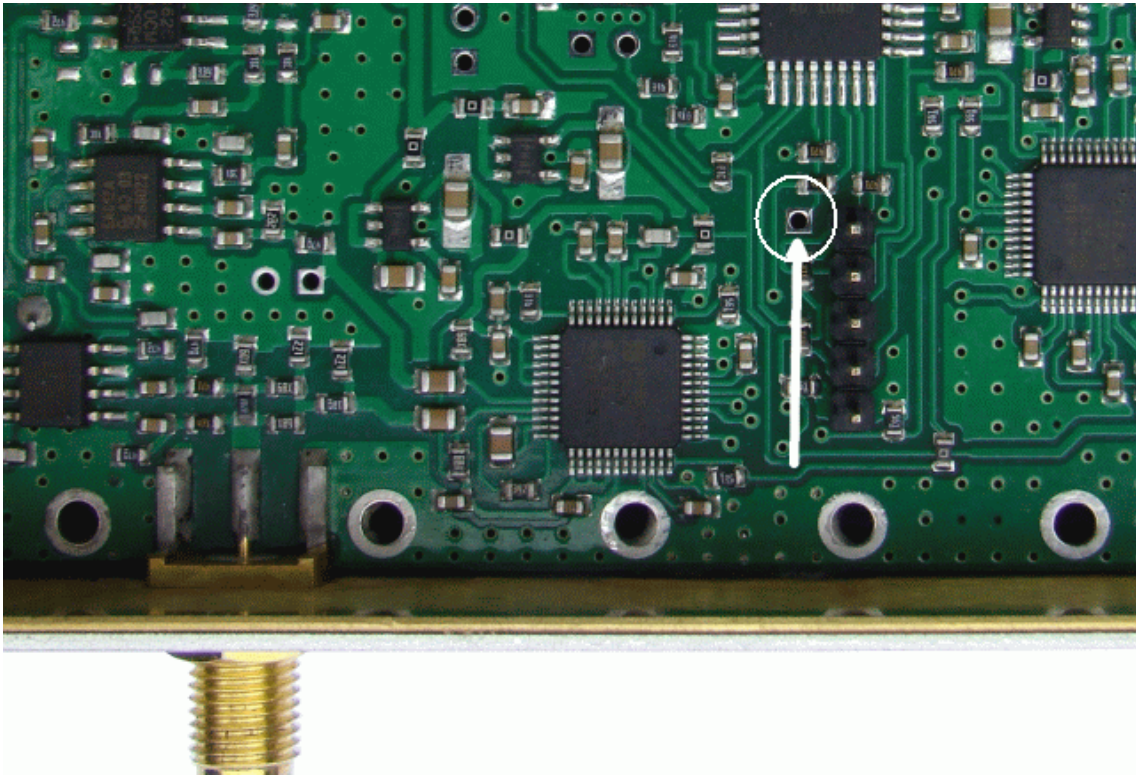
「OK」をクリックしますと、VNWAソフトが起動します。再フラッシュとバスの再スキャン機能以外のUSB機能は停止されていますので、これ以降、エラーメッセージは表示されなくなります。「Option」→「Setup」→「USB Settings」を開き、アップグレードに失敗したファームウェアをサイフラッシュしてください。復活する可能性が残っていた場合、一旦VNWAのUSBケーブル抜き再度接続することにより正常に動作する場合があります。

症状 2: VNWA3のAVR デバイスが USB Viewで確認できないが、USBコアルレーティンが無傷の場合:

USB View で下記のような症状の場合 :



コアルレーティンは、ある程度保護されていますので、USBバス上にAVRデバイスとして表示されない場合でも、無傷で残っている場合があります。ファームウェア V5.12 以降では、下記テストポイントをアースすることにより破損していると予想される初期化コードを、USBコアが強制回避することができます。



最初に、VNWAからUSBケーブルを抜いた状態にします。次にワニ口クリップ等で、他のランドに触れないように慎重にテストポイントをアースした状態にします。その状態でVNWAにPCからのUSBケーブルを接続します。電源が入りましたら、アース用のケーブルを取り除いてください。USB View を使用してAVR USBデバイスが正常に戻ったか確認してください。この方法が成功した場合、**VNWAソフトをすぐには立ち上げないでください！ 上記症状1に従って進行してください。**

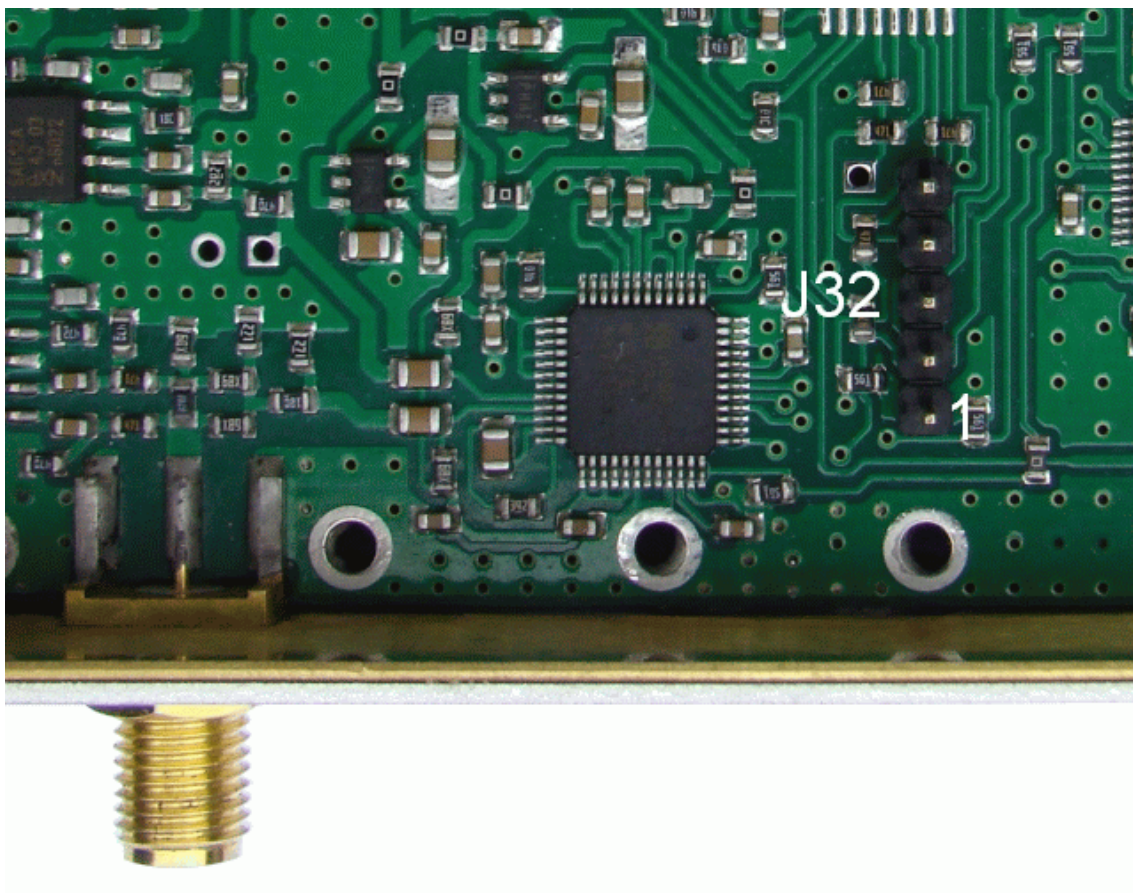
この方法で回復しない場合は、症状4 にお進みください。

症状 3: (VNWA2用ですので日訳は割愛させていただきます。)

症状 4: VNWA3のAVR デバイスが USB View 上で確認できないので、ISPを使用してAVRを再プログラムする場合:

一般的に、この場合はVNWA3を取扱代理店もしくはSDR-Kits社に返送して再プログラムを行って頂いております。

Atmel AVRをフラッシュ可能なISPプログラマーをお持ちでしたら、ご自身で再プログラムすることが可能です。J32ヘッダーピンを使用して、下記のようにISPとVNWA3を接続してください:



J32 ISP インターフェースピン配置:

- Pin 1: GND
- Pin 2: Reset
- Pin 3: SCK
- Pin 4: MOSI
- Pin 5: MISO

重要: AVRを再フラッシュする前に、後でリストアできるようにEEPROMの内容を吸い上げて保存しておいてください。EEPROMにはライセンスキー情報が含まれています。使用するISPソフトでは、Atmega328p を選択してください。準備が完了しましたら、最新のファームウェア(V5.xx)をフラッシュしてください。フラッシュ後、保存しておいたデータをEEPROMに書き込んでください。